

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者 氏名	小林 佑多
-------------	-------



当該業務における役割	担当技術者	
所属 企業	商号又は名称	株式会社中央工研
	住所	松本市大字島立978-1

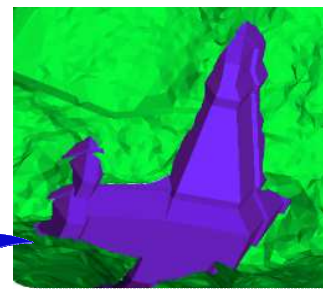
【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補砂防メンテナンス（砂）事業に伴う設計業務	発注 機関	姫川砂防事務所
業務箇所	犀川・姫川圏域 管内一円 姫川管内一円((砂)白沢 北安曇郡白馬村 堀之内)		
最終契約額	1,663万 2千円	業務 概要	・ 砂防溪流調査 N=1式 ・ 砂防堰堤予備設計 N=1基
契約期間	自 令和 5年 8月 2日 至 令和 7年 2月28日		
主な取組	①タブレット端末を活用し、急峻な現場における現地調査の位置確認・記録作業を現地で完結させることで調査効率の向上を図った。 ②発生残土の管理用道路への活用を提案し、3次元モデルによる差分土量計算で土量バランスの最適化を図った。		

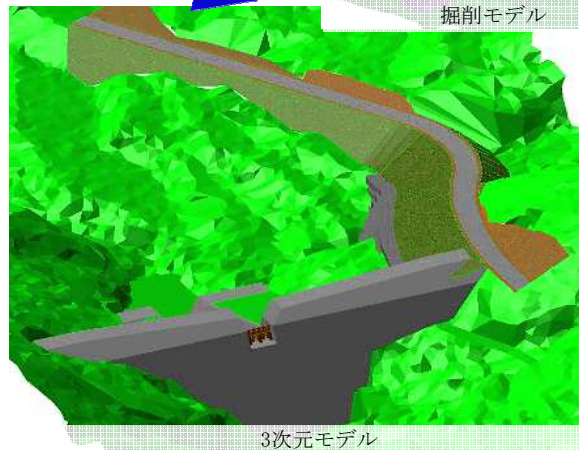
①タブレット端末による現地調査



②3次元モデルによる土量バランスの最適化



掘削残土の
活用



令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者氏名	北浦 優
---------	------



当該業務における役割	管理技術者	
所属企業	商号又は名称	株式会社 長野技研
	住所	松本市新村2326

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補砂防メンテナンス（急）事業に伴う測量設計業務	発注機関	諏訪建設事務所
業務箇所	天竜川圏域 茅野市 糸萱		
最終契約額	875万6千円	業務概要	3級基準点測量 N=2点, 4級基準点測量 N=2点, 地上レーザ測量 A=0.0025km ² , UAVレーザ測量 A=0.0025km ² , 路線測量 L=0.065km, 法面（吹付法枠）詳細設計 N=1箇所, 現況調査, 急傾斜地対策工設計, 急傾斜地崩壊対策施設点検
契約期間	自 令和6年 3月19日 至 令和6年10月25日		
主な取組	本業務では①急傾斜地という現地状況に合せ、UAVと地上レーザ測量を使い分け、短期間で安全に測量作業をした。また②レーザ照射角の違いを利用して法枠形状と土砂流出量を精度良く算定し、設計品質の向上を図った。その他に③新技術活用をの機会を活かし、若手技術者に対する技能習得と技術継承の場とした。		

①現地地形に合わせたUAVと地上レーザ測量の使い分け

地上レーザ測量

- 作業安全性の確保
- 立ち入りや伐採範囲の最小化
- 高精度な地形把握

合成とフィルタリ

→

UAVレーザ測量

レーザ照射角の違いによる複雑な現地地形データの取得

②法枠形状を含めた高精度な地形把握、数量算出精度の向上

「地上」+「上空」の複合型→高精度な地形の把握

オーバーハングを含む急傾斜地で、UAVと地上レーザの2つの測量手法を併用することで、「調査・測量作業の安全確保」、「伐採範囲の縮減」、「高精度な地形データの取得」、「作業の省力化」、「数量算出精度の向上」を図った。

また、新技術に直接触れることができる機会であったため、これらの現場作業を若手社員育成の場として活用した。

③若手社員育成の場

本現場作業に参加した若手社員は、能登半島の災害支援の現場でも活躍している。

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者氏名	吉原 潤一
---------	--------------



当該業務における役割	管理技術者	
所属企業	商号又は名称	株式会社 長野技研
	住所	松本市新村2326

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補道路メンテナンス（道路附属物等）（加速化）事業に伴う設計業務	発注機関	大町建設事務所
業務箇所	県内一円 大町管内一円 道路附属物等補修（借馬横断歩道橋ほか）		
最終契約額	855万 8千円	業務概要	横断歩道橋補修設計 N=5橋 （借馬横断歩道橋、旭横断歩道橋、俵町横断歩道橋、松崎横断歩道橋、社小学校入口横断歩道橋） 無散水融雪施設詳細設計1橋
契約期間	自 令和6年 6月28日 至 令和7年 2月28日		
主な取組	横断歩道橋5橋の補修設計業務である。現地の状況を詳細に調査し、劣化・損傷原因の究明に有効な詳細調査を行ったうえで効果的な対策を実施した。また、小学校に近接する歩道橋に対しては、通学児童への影響を軽減できる塗膜除去工法を提案した。		

橋台部のコンクリートコアを採取してアルカリ骨材反応(ASR)試験を実施

ひびわれ

ひびわれ

コア採取状

ASR試験

結果, ASRの発生が確認された → 対策実

高密度レーザー光を用いた塗膜除去技術の提案

レーザー照射により塗膜を気化後、バキュームで吸引。

ブラスト工法 施工日数計35日	レーザー工法 施工日数計15日
仮囲い設置 10日	不要
ブラストE 2日	レーザーE 2日
塗装工 13日	塗装工 13日
仮囲い撤去 10日	不要

従来工法に比べて大規模な仮囲い等の仮設物が不要となるほか、大幅な工期短縮が可能となるため、利用者への負担が軽減できる。

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者氏名	竹内 雄介
---------	-------



当該業務における役割		主任技術者
所属企業	商号又は名称	長野技研コンサルタント株式会社
	住所	長野市真島町真島1292

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 県単道路改築事業に伴う測量業務		発注機関	千曲建設事務所
業務箇所	(一)内川姨捨(停)線 千曲市 姨捨(1)			
最終契約額	332万2千円	業務概要	3級基準点測量 3点	
契約期間	自 令和6年3月14日 至 令和6年8月30日		4級基準点測量 9点 地形測量 0.019km ²	
主な取組	踏切周辺においてLidarSLAM技術を用いた測量による地形図作成 ①精度確保に重点を置いた計測計画の策定による品質向上 ②鉄道敷内の測量方法の選定による業務費用の削減 ③後続業務で利用可能な数値地形モデルの作成			

◇LidarSLAM技術の特徴及び現場状況を踏まえた計測計画の策定

◇数値地形モデル

◇JR敷地外及び列車運行に支障とならない位置での測量が可能なLidarSLAM技術を用いた測量を提案

<従来のトータルステーションによる測量>

鉄道敷内
近接作業申請
関係機関協議 **必要**
列車見張員

<LidarSLAM技術による測量>

鉄道敷外より計測
近接作業申請
関係機関協議 **不要**
列車見張員

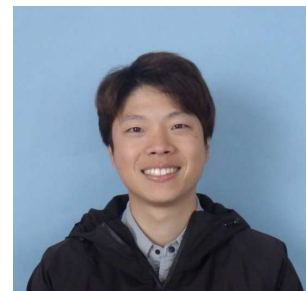
【 LidarSLAMによる業務費の削減効果 】

工種	種別	細別	数量	単位	削減効果
測量費	関係機関との協議資料作成	JR東日本協議	1→0	機関	-1%
		JR東日本協議 (2ヶ月短縮)	1→0	機関	-3%
安全費	列車見張員等の鉄道認定資格者		3→0	人・日	-8%
業務費 (諸経費含む)					-12%

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者 氏名	有賀 悠
-------------	------



当該業務における役割	担当技術者	
所属 企業	商号又は名称	株式会社 日研コンサル
	住所	松本市渚2-5-6

【対象となった委託業務】

業務名	令和6年度 経営体育成基盤整備事業 小野沢地区 くりあげ場工区確定測量業務	発注 機関	松本地域振興局
業務箇所	東筑摩郡朝日村大字小野沢		
最終契約額	576万4千円	業務 概要	確定測量業務 一式 <ul style="list-style-type: none"> ・4級確測基準点測量 N=40点 ・境界調査 A=13.3ha、 ・地積測定 A=13.3ha、 ・確定図作成 A=13.3ha ・一筆地測量 A=13.3ha ・仮作図作成 A=13.3ha
契約期間	自 令和6年8月9日 至 令和7年3月14日		
主な取組	確定測量業務において、IMU搭載RTK-GNSSを活用し、急斜面や河川の雑草繁茂地でも視通や大規模な伐採を伴わない効率的な杭探索を実施した。さらに、UAV写真測量から生成した高精度な三次元点群データと実測結果を照合し、結線ミスや現地確認不足による人的ミスを防止することにより、測量成果の信頼性と品質向上を実現した。		

アンテナ IMU機能によりアンテナを傾けた状態で観測・探索が可能。

ボール

操作端末

測定ポイント

※ナビゲーション 操作画面拡大

作業員①

現場資料

作業員②

作業地区

IMU搭載のネットワーク型RTK-GNSS測量機を使用することにより、急斜面や河川の雑草繁茂地でも効率的に調査を実施。

急斜面

河川

三次元データ活用により、測量成果の信頼性と品質向上を実現。

境界点

法面地形条件精査

境界線(結線精査)

地番(名称等精査)

境界点(設置位置等精査)

3次元点群データ+実測データ(ピンク)

「作業者の誤認識、点検・確認不足」を未然に防止するため、実測結果(画面①)と現場資料(机上)の整合性を3Dデータ(画面②)により、2人体制で精査。

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者氏名	藤原 俊
---------	------



当該業務における役割		担当技術者
所属企業	商号又は名称	株式会社 日研コンサル
	住所	松本市渚2-5-6

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補道路メンテナンス（橋梁）・県単道路橋梁維持（橋梁修繕）事業に伴う設計業務	発注機関	諏訪建設事務所
業務箇所	県内一円 諏訪管内一円 橋梁補修（2）		
最終契約額	19,62万 4千円	業務概要	橋梁補修設計 N=3橋 橋梁補強設計 N=1橋 床版コンクリート研り調査 N=1式
契約期間	自 令和5年3月4日 至 令和6年3月15日		
主な取組	① 高精度オルソ画像作成による外観変状調査を提案 ⇒ 調査精度向上及び現道交通規制削減 ② 改修経緯不明橋梁に対し、非破壊検査の他に床版研り調査を追加提案 ⇒ 床版鉄筋条件を明確化したうえで耐荷性能照査を実施し、補強対象範囲の削減に寄与 ③ ネットワーク型RTK測量・3Dスキャナを用いた橋梁形状の3次元化 ⇒ 形状把握・工法選定に寄与		

＜UAV高性能カメラ近接撮影による外観変状調査＞

【オルソ画像解析】
3D点群ピットを標定点としてオルソ画像解析を行い高精度画像を作成

↓ 高精度オルソ画像による損傷調査を実施

調査精度向上・現道交通規制削減

＜昭和初期橋梁に対する復元設計および補強設計＞

現行8t規制（目標T-14）

交差点部T-25への補強

補強不要
【目標T-14の耐荷力を確認】

補強対象
【T-25へ補強】

箇所	床版耐荷力（当初荷重）	T-8に対する補強必要性	T-14に対する補強必要性	T-25に対する補強必要性
① 第1径間	T-6 t	配筋φ13-NG 要補強	配筋φ13-NG 要補強	主鉄筋φ13-NG 配力筋φ13-NG 要補強
② 第2径間	T-6 t	配筋φ13-NG 要補強	配筋φ13-NG 要補強	-
③ 第3径間	T-6 t	OK	配筋φ13-NG 要補強	-
④ 第4径間	-	-	-	-

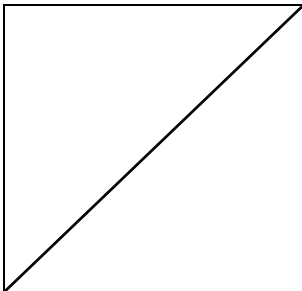
箇所	T-14に対する補強必要性	T-25に対する補強必要性
① 第1径間	主鉄筋D25-OK 配力筋D16-OK	主鉄筋D25-NG 配力筋D16-NG 補強対象
② 第2径間	主鉄筋D25-OK 配力筋D16-OK	補強対象
③ 第3径間	主鉄筋D19-OK 配力筋D13-OK	-
④ 第4径間	-	-

床版鉄筋条件の明確化により補強対象範囲を削減

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者 氏名	
-------------	--



当該業務における役割		担当技術者
所属 企業	商号又は名称	日本総合建設株式会社
	住所	長野市若里2丁目15-57

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 県営農村地域防災減災事業 長野県⑫地区 長野1工区ため池地震耐性評価業務	発注 機関	長野地域振興局
業務箇所	長野県戸隠豊岡、長野県大岡中牧		
最終契約額	2931万5千円	業務 概要	農業用ため池地震耐性評価 N=4箇所 調査ボーリング N=7本 ΣL=78m 標準貫入試験 78回 高密度表面波探査 一式 解析等調査業務 一式
契約期間	自 令和6年5月14日 至 令和7年3月21日		
主な取組	① 出水災害と堤体法面の崩壊が生じたため、そのメカニズムを明らかにし、安定解析に反映した。 ② 実態により近い解析を目指し、表面波探査やSWS試験による堤体の形状把握を行ったほか、乱れの少ない試料が得られるまで、手法を変えながら複数回のサンプリングを試行した。 ③ 複数パターンの安定計算や、聞き取り調査を行い、総合的視点からの耐震性評価を目指した。		

出水により被災し
湛水機能が失われた

出水に伴い土砂が
吸い出され崩壊

底樋管開口

斜樋

礫を多く含む堤体

新旧底樋管接続部に
幅24cmの開口部
堤体上流法面から
開口部につながる
φ10cm程度の孔

出水時の流路推定

底樋出口

パイピング跡多数

1m

底樋管接続部の開口部
幅24cm

パイピングが生じやすい土質

Co構造物

新旧底樋管接続部
幅24cmの開口部

底質土

堤体盛土-I

旧底樋管 φ150mm

新底樋管 φ800mm

底樋管開口

河床堆積物

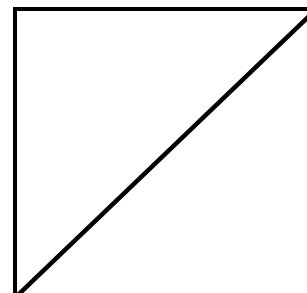
上流

下流

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者氏名	
---------	--



当該業務における役割	主任技術者	
所属企業	商号又は名称	日本総合建設株式会社
	住所	長野市若里2丁目15-57

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補道路改築(道路メンテナンス)事業に伴う地質調査業務	発注機関	長野建設事務所
業務箇所	(主)長野菅平線 長野市 落合橋(2)		
最終契約額	2640万円	業務概要	機械ボーリング N=4本 (ΣL=134.8m) 標準貫入試験 N=134回 孔内水平載荷試験 N=16回 現場透水試験 N=20回 総合解析とりまとめ 1式(他工区分を含む計17孔)等
契約期間	自 令和5年10月18日 至 令和6年 8月30日		
主な取組	延長約1kmの地質断面図を正確に作成するため、他工区の地質調査担当者と連携し、コア判定の精度向上を図った(図1, 写真1)。また、遠隔臨場の実施や、同時並行していた計5工区の業務に関する各種調整を行い、円滑な事業の推進に努めた(写真2, 写真3)。		

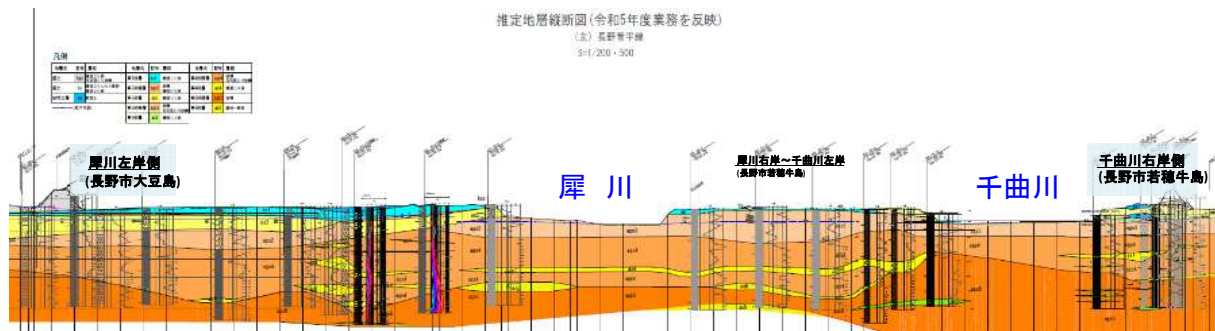


図1. 想定地質断面図



写真1. 他工区の担当者で行なったコア確認



写真2. 遠隔臨場中のパソコン画面



写真3. オンライン検尺の様子

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者 氏名	島田 隆広
-------------	-------



当該業務における役割		管理技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社フジ技研
	住所	上田市住吉104-1

【対象となった委託業務】

業務名	令和6年度 県営畑地帯総合土地改良事業 小海原地区 幹線農道待避所測量・設計業務		発注 機関	佐久地域振興局
業務箇所	南佐久郡小海町大字小海			
最終契約額	1282万6千円	業務 概要	基準点測量N=35点3級基準点5点、4級基準点25点 路線測量L=340m 農道設計（待避所配置計画） N=14箇所ΣL=0.33km	
契約期間	自 令和6年8月6日 至 令和7年3月3日			
主な取組	設計品質の向上を図るため、地元役員を含めた三者立会を現地で実施し、待避場の完成形を可視化して説明することで、相互理解を深め、円滑な合意形成を図った。また、地元要望による待避場の増設に対しては、実用性・安全性・経済性を重視した最適な配置の選定および標準モデル化を行うことで、委託費および工事費の削減を実現した。			

◆現地踏査



◆三者立会・待避場の完成形を可視化



◆大型トラクターのサイズを把握して設計へ反映



◆地元説明会で箇所ごと丁寧に説明





- ・ 14箇所の待避場設計のため、三者立会と説明の工夫で地権者理解を得て、設計品質向上となった。
- ・ 走行車両調査を反映し、運転者の立場になった最適な位置選定および設計で安全性向上とコスト削減を図った。
- ・ 擁壁工法を含めた総合的な比較により、環境影響を抑え安全性を確保して、工事費を50%以上削減した。
- ・ 大型トラクターの運転者の立場になり、安全性かつ走行性を提案するために、早期に現場状況、車両性能を把握したこと。

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

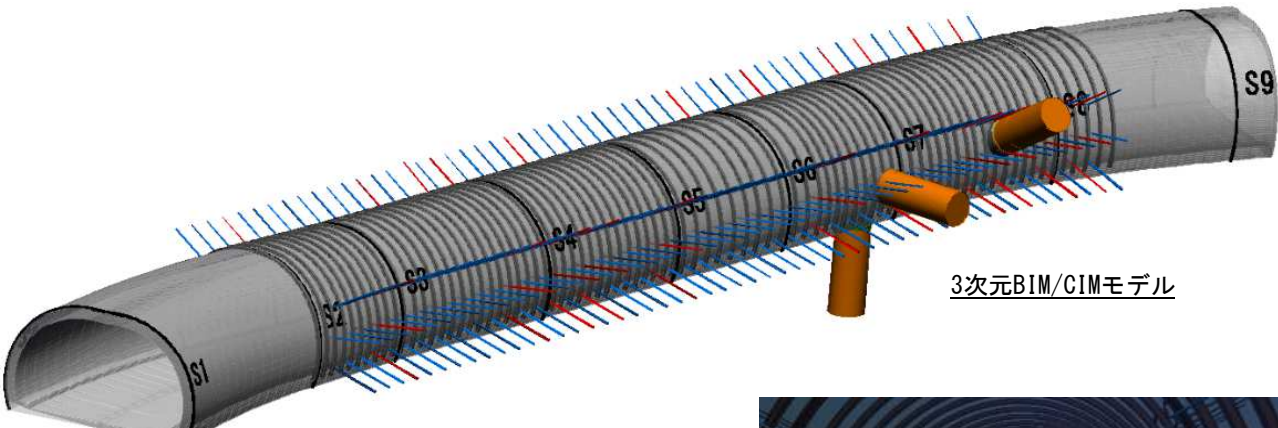
優良技術者 氏名	高橋 悟
-------------	------



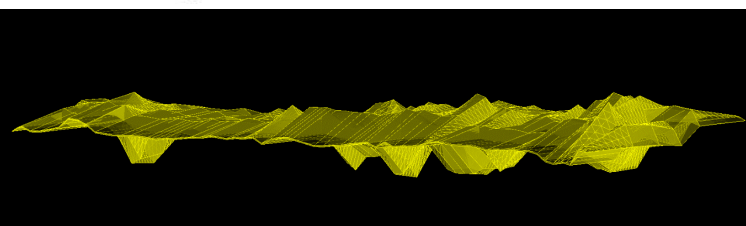
当該業務における役割		管理技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社 フジ技研
	住所	上田市住吉104番地1

【対象となった委託業務】


業務名	令和5年度 国補道路メンテナンス（トンネル）（加速化）事業に伴う設計業務	発注 機関	大町建設事務所
業務箇所	県内一円 大町管内一円 トンネル補修（白岩トンネル）		
最終契約額	938万 3千円	業務 概要	トンネル補修設計 N=1施設
契約期間	自 令和6年 5月 8日 至 令和6年 11月 5日		
主な取組	①水質汚染や、坑内作業環境の影響を考慮し、環境に配慮したロックボルト補強工を設計した。 ②3次元BIM/CIMモデルを構築し、背面空洞量の自動算出及び鋼製支保工とロックボルトとの干渉チェック等に活用し、施工の効率化を確実性を検証した。		



3次元BIM/CIMモデル



背面空洞量 自動算出3次元モデル



3次元モデル内をウォークスルー

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者 氏名	高松 潔
-------------	------



当該業務における役割		管理技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社 フジ技研
	住所	上田市 住吉 104-1

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補道路メンテナンス(橋梁)事業に伴う設計業務	発注 機関	佐久建設事務所
業務箇所	県内一円 佐久管内一円 橋梁補修 (湯沢橋ほか4橋)		
最終契約額	2297万9千円	業務 概要	橋梁補修設計 N=5橋 (湯沢橋・太郎別当橋・牧場1号橋・小宮山川橋・ 平塚歩道橋)
契約期間	自 令和6年2月21日 至 令和7年3月14日		
主な取組	事後保全型から持続可能なインフラメンテナンスとする予防保全型への転換に向けて、主な劣化因子である水を遮断する方針で新技術を採用し補修設計を行った。UAVと地上型3Dレーザースキャナーを併用した測量を行い、不可視部を極力減らし3Dモデルを作成した。小型クローラ型橋梁点検車を採用し、作業の効率化と費用削減に繋がった。		

☆ 湯沢橋 型式：3径間単純RC桁橋+3径間単純RC床版橋 橋長 L=41.150m 幅員 W=8.750m



☆ 太郎別当橋 型式：2径間鋼単純H桁橋 橋長 L=36.060m 幅員 W=3.630m



☆ 小型クローラ式
橋梁点検車による調査



令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

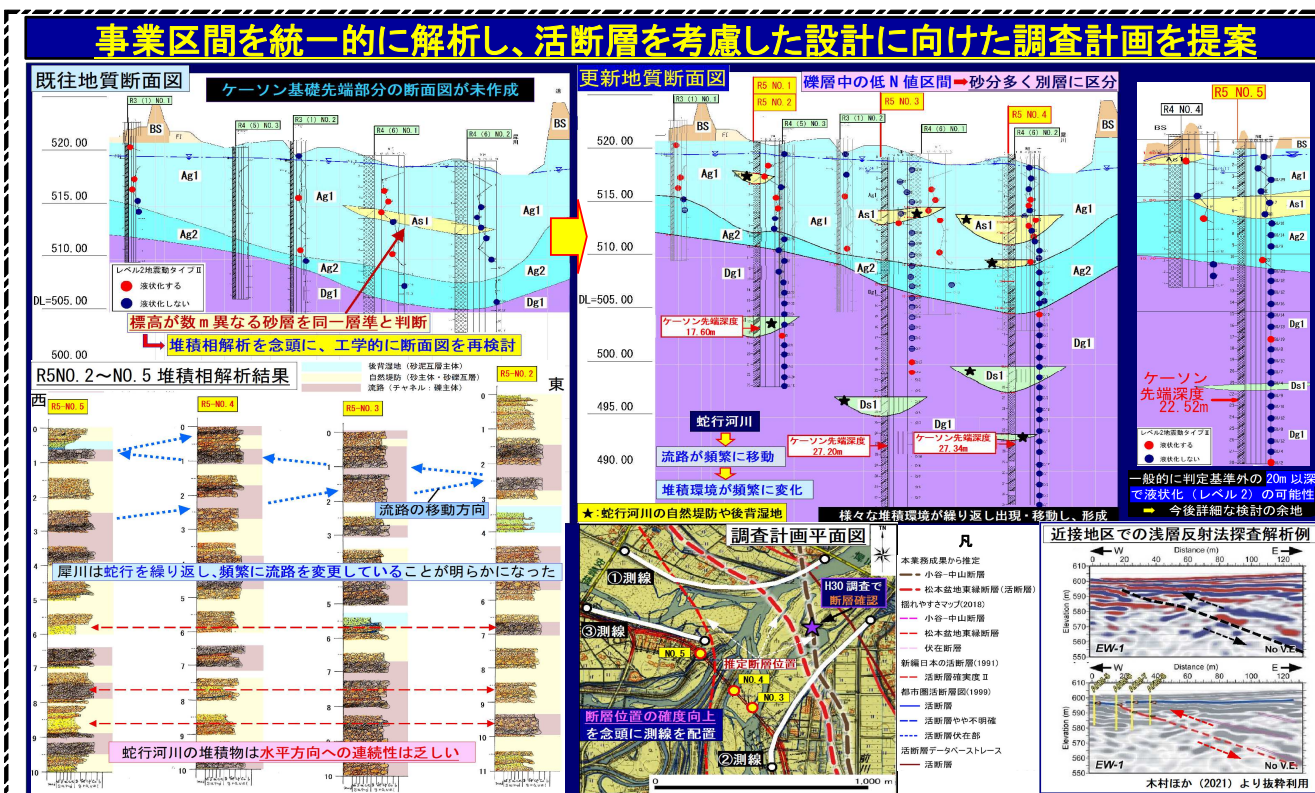
優良技術者氏名	塩野 敏昭
---------	-------



当該業務における役割	主任技術者	
所属企業	商号又は名称	株式会社 北信ポーリング
	住所	長野県飯山市大字蓮3957番地

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補道路改築（地域連携）事業に伴う地質調査業務	発注機関	安曇野建設事務所
業務箇所	(主) 大町明科線 安曇野市 安曇野道路 (15)		
最終契約額	1,828万 2千円	業務概要	<一般調査>機械ボーリング3孔94.33m、標準貫入試験94回、室内土質試験（土の粒度試験）81試料 <解析等調査>既存資料収集・現地調査、資料整理とりまとめ、断面図作成、総合解析とりまとめ、地震時液状化判定各1式、現況地盤解析1断面、打合せ5回
契約期間	自 令和6年1月26日 至 令和6年11月29日		
主な取組	既往の調査・解析結果を統一的な基準で整理・考察し、加えてコア密度(単位堆積重量)を深さ1m毎に計測し、解析精度の向上に寄与した。そのうえで、堆積学的アプローチによる解析結果を基に、地層区分を再検討することで、統一的な判断基準を構築した。さらに最新の地形表現を用いて既往調査結果を精査し、活断層を考慮した設計に向けた調査提案の提案を実施した。		



令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者 氏名	廣瀬 一聖
-------------	-------



当該業務における役割		管理技術者
所属 企業	商号又は名称	北陽建設株式会社
	住所	長野県大町市社5377

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補地すべり対策（大規模特定）事業に伴う調査業務		発注 機関	姫川砂防事務所
業務箇所	(地) 外沢 北安曇郡小谷村 外沢			
最終契約額	662万 2千円	業務 概要	地すべり観測（地下水位・パイプ歪計） 13孔	
契約期間	自 令和 6年 2月23日 至 令和 7年 3月14日		移動杭観測 2測線 機構解析 1業務 関連構造物モデル構築 1式 関係機関協議資料作成 1式	
主な取組	①過年度の地すべり観測結果を再評価し、地すべりブロック形状（範囲・深度）の再検討を実施 ②過年度業務の対策工設計内容を見直し、経済性・施工性・維持管理を考慮した配置を検討 ③対策工の配置検討に三次元モデルを活用			

地質モデル

対策工モデル

地すべりモデル

対策工設計に三次元モデルを活用することにより、各種対策工の配置検討、集排水ボーリングの長さや方向の決定、施設同士の干渉チェックなどが比較的容易となり、手戻り防止にもつながった。

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

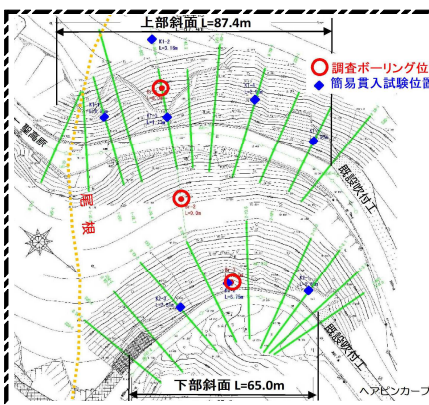
優良技術者 氏名	藤岡 毅
-------------	------



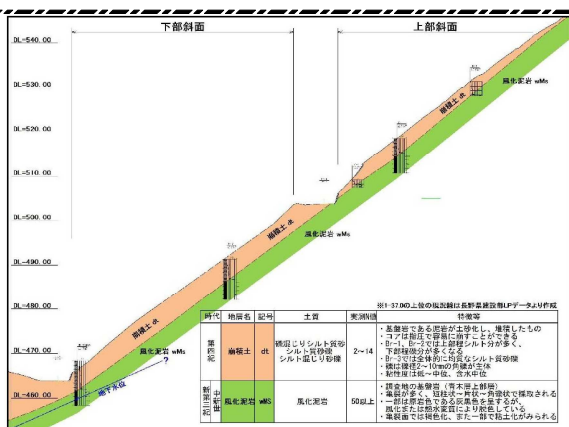
当該業務における役割	主任技術者	
所属 企業	商号又は名称	北陽建設株式会社
	住所	長野県大町市社5377番地

【対象となった委託業務】

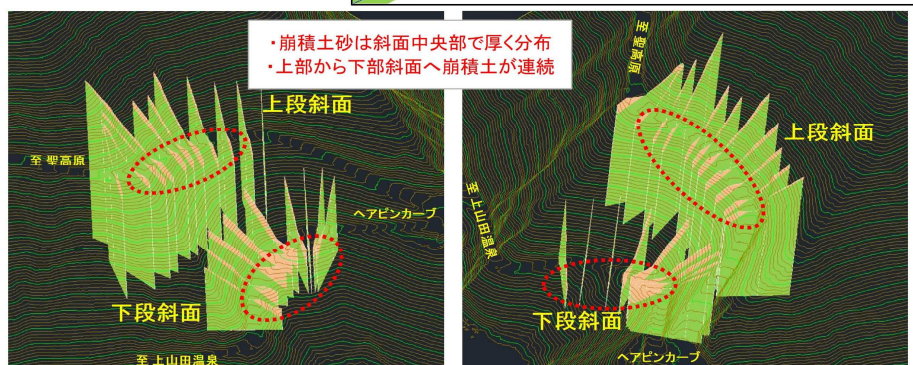
業務名	令和5年度 国補土砂災害対策道路(加速化)事業に伴う地質調査業務	発注 機関	千曲建設事務所
業務箇所	(一) 聖高原千曲線 千曲市 城山ほか		
最終契約額	711万7千円	業務 概要	機械ボーリング N=3孔 ΣL=27m 標準貫入試験 N=3孔 計27回 簡易貫入試験 N=8箇所 ΣL=22.2m 総合解析とりまとめ 一式
契約期間	自 令和6年3月14日 至 令和6年7月12日		
主な取組	当該斜面は崩壊跡地や崩土の堆積地形が目立ち、不安定土砂の分布に相当な不陸が予想された。ボーリング調査の補完目的で広範囲での簡易貫入試験を提案し、不安定土層分布を細かく把握した。簡易貫入試験結果も踏まえて計20断面の地層想定断面図を作成し、対象斜面内を三次元化することで崩壊が予想される緩い層の分布を視覚的に容易に把握・判別可能として、対策工選定や範囲の根拠となる基礎資料を提供した。浮石分布状況や変状発生状況等より上部斜面には鉄筋挿入工併用の法面工を、下部斜面は落石エネルギーを踏まえてポケット式落石防護網を提案した。		



凹状の斜面形を呈した上部・下部にわたる一連の対象斜面に対し、当初は調査ボーリング3孔のみの計画であったが、不安定土層厚にバラツキが予想されたため簡易貫入試験を補完的に8箇所に配置して、斜面全体の緩み土層を三次元的に可視化した。併せて、踏査で落石発生源となる浮石も把握した。調査結果から最も緩み土層厚が厚い断面を標準断面として、設計上の留意点を抽出した。



検討結果から、浮き石や不安定土砂が厚く堆積する上部斜面は予想される崩壊厚が3m程となり、待ち受け式の施設よりも原位置で抑止を図る必要があると判断し、鉄筋挿入工を併用した法面工を提案した。一方上部斜面に比べて若干緩い下部斜面は概ね安定勾配を維持していると評価し、分布する浮石から試算される落下エネルギーも40kJ程度とさほど大きな値ではなかったため、ポケット式落石防護網を提案した。支持層が深い位置にあることから、待受け式擁壁工は設置が困難と判断した。



令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者 氏名	西澤 忍
-------------	------



当該業務における役割		主任技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社みすず総合コンサルタント
	住所	長野県上田市上田原1073-4

【対象となった委託業務】

業務名	令和6年度 国補ダム建設(ダム再生)事業に伴う測量業務	発注 機関	長野建設事務所
業務箇所	(一)裾花川 長野市 裾花ダム・奥裾花ダム(1)		
最終契約額	2119万7千円	業務 概要	堆砂測量 ・ 裾花ダム 貯水池堆砂測量 $A=0.88 \text{ km}^2$ ・ 奥裾花ダム 貯水池堆砂測量 $A=0.45 \text{ km}^2$ ・ 三次元堆砂状況モデル作成
契約期間	自 令和6年 8月22日 至 令和7年 3月19日		
主な取組	ナローマルチビーム一体型深淺測量用無人リモコンボートや航空レーザ測深(ALB)によりシームレスな3次元点群データを取得し、精緻な土量算出を実施しました。また、迅速な意思決定や情報共有を支援するため、竣工から半世紀以上にわたる河床軌跡を5年刻みで再現し、堆砂の変遷を3次元モデルで可視化しました。		

